

株主メモ

- 事業年度 / 毎年11月1日から翌年10月31日まで
- 定時株主総会 / 毎年1月
- 配当金受領株主確定日 / 期末：10月31日 中間：4月30日
- 公告方法
当社コーポレートサイト(<https://www.care21.co.jp/>)に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人および特別口座管理機関
大阪市中央区伏見町3-6-3
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777

〔株式関係のお手続き用紙のご請求〕

口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも承っております。

証券代行部テレホンセンター／☎0120-094-777
株式に関するお手続き／<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

IRメール配信のご案内

ケア21のIRに関するニュースリリースをメールでお届けします。



こちらから
ご登録
いただけます



株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新のIRニュース、最新の決算発表のほか、ケア21グループの事業や取り組みをわかりやすく紹介しています。



ケア21 IR情報 検索 <https://www.care21.co.jp/ir/>



主なグループ会社一覧

株式会社 美味しい料理

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル12F
TEL 06-6456-5626 FAX 06-6456-5721

株式会社 ケア21メディカル

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル12F
TEL 06-6456-5617 FAX 06-6456-3366

株式会社 ケア21不動産

〒101-0042 東京都千代田区内神田3-18-2 アドミラル神田ビル2F
TEL 03-5296-9323 FAX 03-5296-9323

株式会社 たのしい職場

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル10F
TEL 06-6456-5633 FAX 06-6456-5642

株式会社 EE21

〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-15 梅田イーストビル5F
TEL 06-6363-2400 FAX 06-6363-2402

株式会社 ケア21ライフプラス

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル17F
TEL 06-6456-1221

株式会社 サポート21

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル10F
TEL 06-6456-5633 FAX 06-6456-5642

Care21 Vietnam Company Limited

#1712, Prime Centre, 53 Quang Trung,
Nguyen Du, Hai Ba Trung, Hanoi, Viet Nam

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2
近鉄堂島ビル10F
<https://www.care21.co.jp>



ケア21グループ
コーポレートサイト



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この印刷物は、環境に
配慮し、植物油インキ
で制作しています。

2025

第32期 事業報告書 Vol.45

2024年11月1日～2025年10月31日
証券コード：2373



東証スタンダード上場 未来を創造する総合福祉企業



東証スタンダード上場 未来を創造する総合福祉企業



プレザングラン中野鷺宮

株主・投資家の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第32期の業績(連結ベース)は、連結売上高481億58百万円(前年同期比 6.1%増)、営業利益7億84百万円(前年同期は4億60百万円の営業損失)、経常利益5億43百万円(前年同期は2億39百万円の経常損失)、当期純利益は3億84百万円(前年同期比 38.0%増)となりました。

厳しい事業環境が続く中、収益性を重視した事業運営と経営基盤の立て直しに注力した結果、増収を確保するとともに各利益段階で黒字転換を実現し、持続的な成長に向けた確かな一歩を踏み出すことができました。

◆ 事業セグメント別の取り組み

在宅系介護事業においては、緻密な市場分析に基づき、山口県での当社初出店を含む計7拠点を
出店いたしました。加えて、収益性と地域補完性を重視したM&Aを推進し、利益に貢献しております。さらに、各種加算の適正な取得を通じて、事業基盤の強化に取り組んでおります。

施設系介護事業においては、計5拠点を
出店いたしました。流入経路の拡充と稼働率向上を目的に新設した入居促進部の効果により、入居ペースは回復基調が続く中、入居率も着実に改善しております。一方、食材費等の高止まりが続く中においても、調達
の最適化やエネルギー費対策を通じた費用抑制に努めた結果、利益は大幅に改善いたしました。

その他の事業においては、計6拠点を
出店いたしました。前連結会計年度に開設した障がい事業および保育事業を中心に、売上高および利益の伸長に注力した結果、着実な成果が見られております。

◆ 第32期における重点的な取り組み

当該期においては、持続的な成長を見据え、人財および事業の両面から経営基盤の整備を進めました。

人財面では、これまで取り組んできた採用活動を一層戦略的に位置づけ、人財採用部を新設しました。プロセスの整備を通じて、事業成長を支える人財基盤の体制および強化を進めております。

事業面では、在宅領域における提供価値の拡充

を図るとともに、各事業セグメントにおいて出店や運営を厳選し、収益性を重視した事業運営を徹底しました。あわせて、海外事業については、将来の成長機会を見据えた事業計画の具体化を進めるなど、中長期的な成長に向けた準備をいたしました。

これらの取り組みを通じ、当社グループは収益性と成長性の両立に向けた経営基盤を着実に整えることができました。

不透明な外部環境が続く中においても、当社グループは当該期に実行した各種施策を礎として、成長に向けた経営基盤の強化を進めてまいりました。今後も、ご利用者をはじめ、株主、取引先、従業員を含むすべてのステークホルダーとの信頼関係を基盤に、総合福祉企業としての責任を果たしながら長期的な視点に立ち、「100年続くいい会社」の実現に向けて、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

引き続き、皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

〈 経営理念 〉

1. 福祉・医療・教育・文化の4分野を通じて社会貢献
2. 最大ではなく最高のサービスの提供
3. 人間の尊厳を尊重し、ご利用者本位の真心と優しさのこもったサービスの提供
4. 日本のヘルスケア産業のリーダー企業を目指す
5. 福祉理念と市場原理の融合
6. 現場第一主義
7. 徹底討論・徹底和解
8. 常に考え、変わり続ける
9. 人を大事にし、人を育てる

当期株主配当について

弊社の経営成績と財務状況を考慮し、株主の皆様へ利益還元の一環として、1株あたり10円の配当を実施することを決定いたしました。



株主優待制度の廃止について

2023年10月末時点の当社株主名簿において1単元(100株)以上の保有が確認できる株主様への株主優待品の提供をもちまして、株主の平等性確保の観点から、株主優待制度については廃止し、配当等による利益還元に集約しております。ケア21では今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいります。

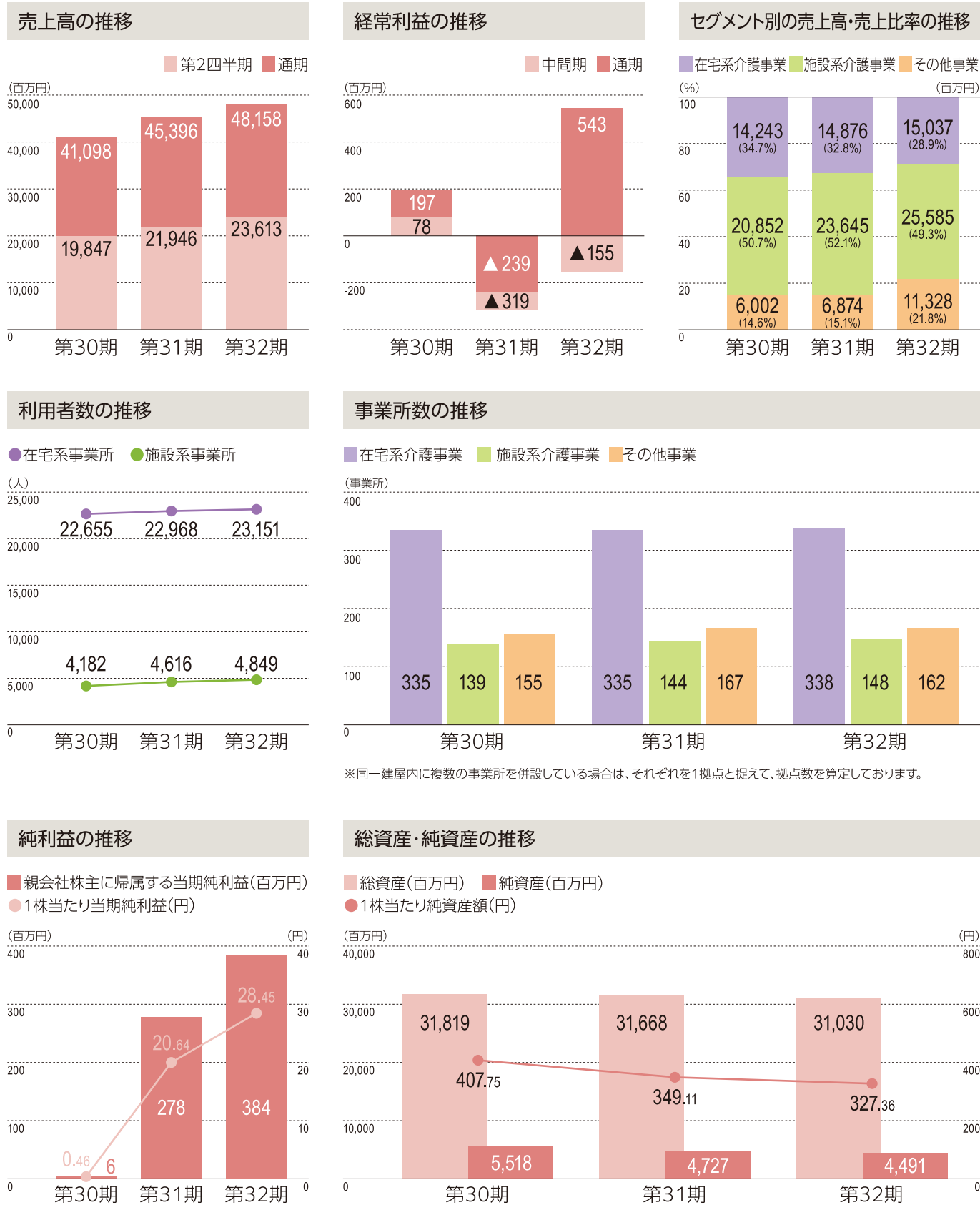
株式会社ケア21
代表取締役社長

依田 雅

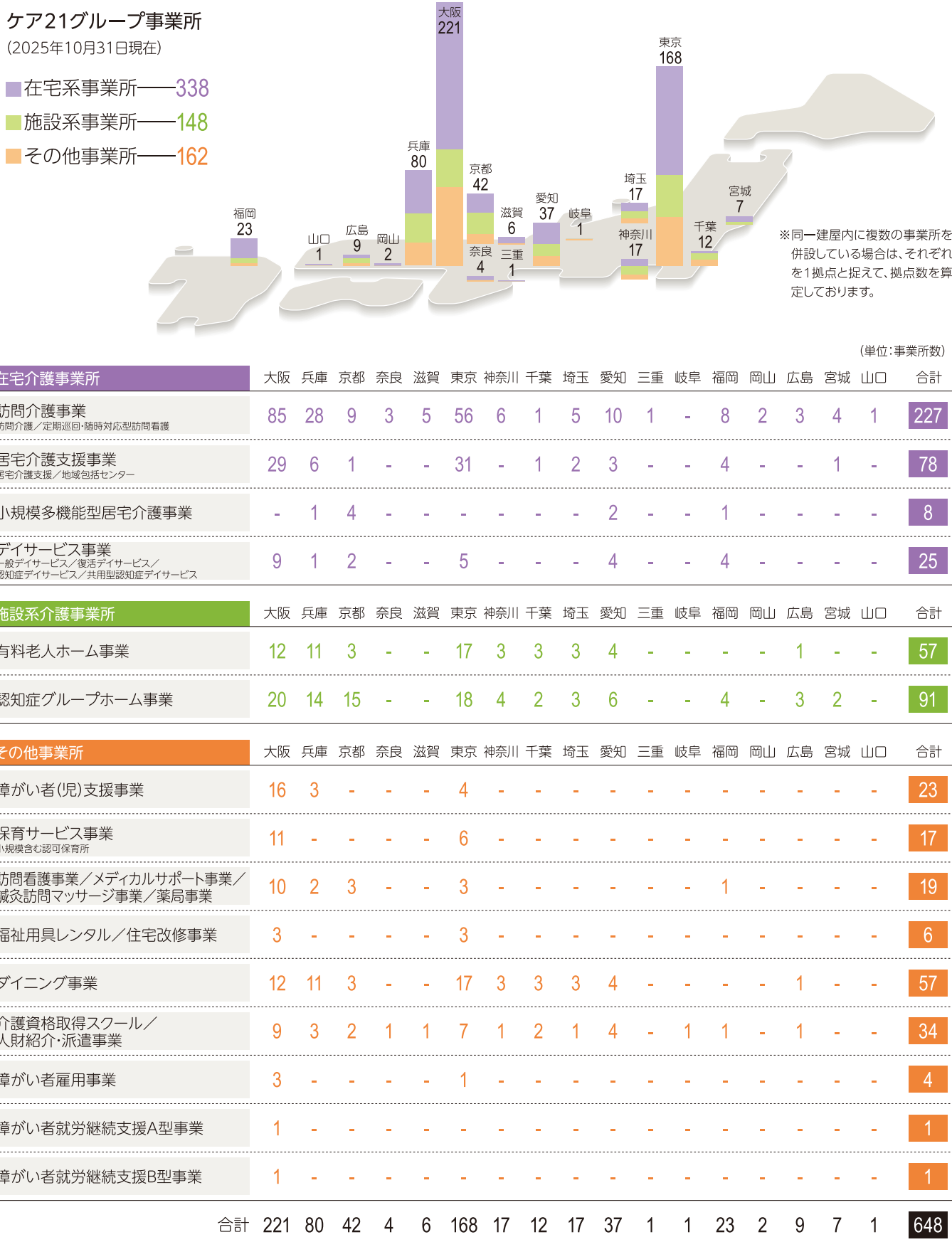


第32期 事業の状況

経営指標の推移（連結）

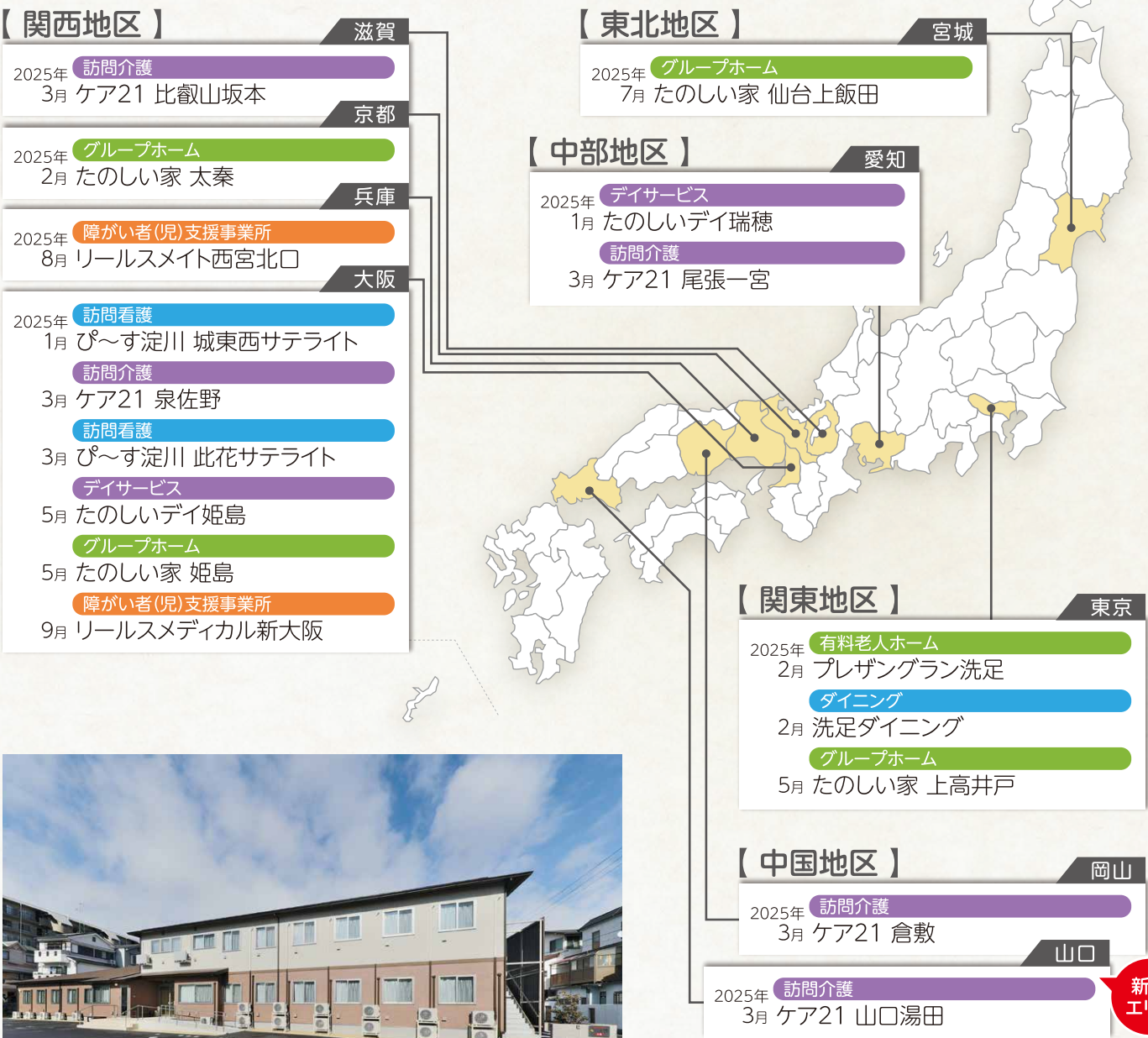


事業所展開状況



第32期 新規出店の状況

■在宅系事業所 ■施設系事業所 ■障がい者(児)支援・保育事業所 ■関連会社事業所



第32期 連結財務諸表

(自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)

連結貸借対照表

資産の部

科 目	金 額 (千円)
流動資産	13,285,729
現金及び預金	4,165,260
売掛金	6,438,483
商品	17,870
原材料及び貯蔵品	31,737
その他	2,650,656
貸倒引当金	△18,279
固定資産	17,744,650
有形固定資産	11,474,083
リース資産(純額)	7,325,677
その他(純額)	4,148,406
無形固定資産	483,941
投資その他の資産	5,786,624
投資有価証券	717,538
差入保証金	3,219,274
その他	1,849,811
資産合計	31,030,379

負債の部

科 目	金 額 (千円)
流動負債	12,612,073
短期借入金	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	2,331,434
未払金	3,389,071
リース債務	849,254
その他	3,692,313
固定負債	13,926,458
長期借入金	4,672,004
リース債務	8,342,703
その他	911,750

純資産の部

科 目	金 額 (千円)
株主資本	3,984,140
資本金	100,000
資本剰余金	1,021,493
利益剰余金	3,353,856
自己株式	△491,209
その他の包括利益累計額	438,369
非支配株主持分	69,337
純資産合計	4,491,848
負債純資産合計	31,030,379

連結損益計算書

科 目	金 額 (千円)
売上高	48,158,162
売上原価	37,036,995
売上総利益	11,121,167
販売費及び一般管理費	10,336,224
営業利益	784,942
営業外収益	311,555
営業外費用	553,130
経常利益	543,367
特別利益	476,525
特別損失	351,686
税金等調整前当期純利益	668,206
法人税等	220,586
当期純利益	447,619
非支配株主に帰属する当期純利益	63,444
親会社株式に帰属する当期純利益	384,174

連結キャッシュフロー

科 目	金 額 (千円)
営業活動によるキャッシュフロー	2,171,448
投資活動によるキャッシュフロー	139,258
財務活動によるキャッシュフロー	△1,197,219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,112,924
現金及び現金同等物の期首残高	3,076,769
現金及び現金同等物の期末残高	4,165,260

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要・株式状況

(2025年10月31日現在)

会社概要

設立	1993年11月
社名	株式会社ケア21
英文名称	CARE TWENTYONE CORPORATION
所在地	■大阪本社 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2丁目2番2号 近鉄堂島ビル10F TEL.06(6456)5633 ■東京本社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目6番1号 堀内ビルディング3F TEL.03(3254)5721 ■名古屋事務所 〒467-0842 愛知県名古屋市瑞穂区妙音通 3丁目49番 第2宏和ビル2F TEL.052(858)3021 ■福岡事務所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4丁目10番13号 奥村第3ビル202号室 TEL.092(475)4421
資本金	100,000千円
従業員数	社員:6,319名／非常勤:3,003名(グループ全体)
事業内容	訪問介護事業／訪問看護事業／居宅介護支援事業／ デイサービス事業／小規模多機能型居宅介護事業／ 施設介護事業(有料老人ホーム、グループホーム)／ 福祉用具販売・レンタル及び住宅改修事業／ 軽作業請負事業／ 介護用品・生活雑貨等の通信販売事業／ 介護人財の教育事業並びに紹介・派遣事業／ ダイニング事業／ メディカルサポート事業／薬局事業／ 障がい(児)通所支援・短期入所事業／ 障がい者就労継続支援事業／保育事業／ 不動産事業
取引銀行	りそな銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行 関西みらい銀行 広島銀行 三井住友信託銀行 福岡銀行

役員

(2026年1月28日現在)

代表取締役会長	依田 平	取締役	手代木 啓*
代表取締役社長	依田 雅	常勤監査役	奥田 隆司*
取締役	端山 勝博	監査役	遠藤 昭夫
取締役	山田 耕嗣	監査役	山本 眞吾*
取締役	深貝 亨*		

*社外取締役 ※社外監査役

株式状況

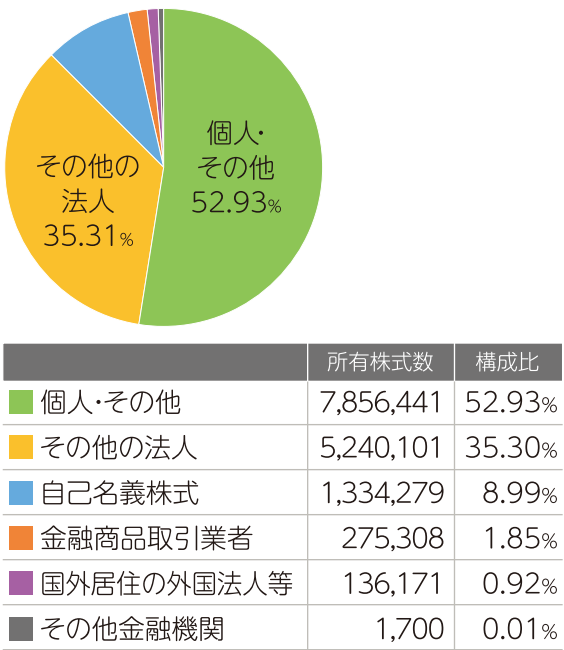
発行可能株式総数……………52,176,000株
発行済株式の総数……………14,844,000株
株主数……………7,978名

■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率(%)*
株式会社浅科依田	3,015,000	20.31
吉田 嘉明	2,060,100	13.87
スターツコーポレーション株式会社	1,480,300	9.97
依田 雅	1,285,900	8.66
アズワン株式会社	700,300	4.71

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合

■所有者別株式分布状況



第32期 取り組み

離職防止

離職防止に向けた早期発見とケア体制を強化「従業員サーベイ」導入

従業員が安心して働き続けられる環境づくりを強化するため、当社では職場の満足度や働きやすさを定期的に把握する従業員サーベイを導入しました。これにより、離職の兆しとなるサインを早期に捉え、組織の状況を継続的に把握できる体制を整備しています。結果は従業員のケアと育成を担う部署が分析し、管理職と連携して共有することで、必要なフォローを迅速かつ確実に行える基盤を構築しました。すでに離職防止に向けた効果が表れ始めており、離職率の低減にも寄与しつつあります。

営業力強化

入居支援プロセスの強化「入居促進部」新設

有料老人ホームおよびグループホームへの入居促進を専門的に担う「入居促進部」を新たに設置し、営業体制の強化を図りました。同部門では、各施設の特性や地域ニーズを踏まえた提案活動を体系化し、入居検討者やご家族への対応力の向上に取り組んでいます。さらに、施設運営部門や地域との関係機関との連携を密にすることで、よりの確な情報提供と入居までのサポート体制を整備しました。こうした取り組みにより、入居相談への対応品質が向上し、入居受け入れの促進に着実な効果が表れはじめています。

ICT推進

独自の基幹システム「CAREログ」の進化

28期より、ICTを活用した自社グループウェア「ケアログ」の開発と運用を着実に進めてまいりました。段階的な高度化の成果として、32期には「社内コミュニケーション」と「数値管理」の一元化を実現。訪問介護サービス提供記録や有料老人ホームの情報管理、営業進捗のデジタル化に続く取り組みとして、業務改革のさらなる推進と情報共有の質向上に寄与し、効率的で活力ある運営基盤の構築につながっています。

新会社設立

ケア21グループ



ケア21ライフプラス

誕生

福祉用具のレンタル・販売、住宅リフォームに加え、介護・生活用品の販売と介護保険適用外の各種周辺サービスを一体的に提供するグループ会社を新たに設立しました。ご利用者様の多様なニーズに対してより幅広く、切れ目のないサービス提供体制を構築。介護事業との連携強化を図ることで、暮らし全体を支える総合サービスの拡充に向けた基盤整備を進める成果となりました。

TOPICS
1

満足度調査に基づく評価

お客様の声を基点としたサービス品質の向上

サービス品質の向上とお客様の声を事業運営に反映することを目的に、毎年お客様満足度調査を実施しています。32期の調査では、全サービスの総合満足度が96.7%となり、4年連続で90%を上回る評価をいただきました。「最大ではなく、最高のサービス」を目指す理念のもと、いただいたご意見を真摯に受け止め、今後も品質向上に向けた取り組みを継続してまいります。

「お客様満足度調査」についての
詳しい報告はこちらよりご覧いただけます



TOPICS
2

働きやすさと自己選択の尊重
制服の新色追加

当社では、多様な働き方を尊重し、すべての社員が自分らしく活躍できるインクルーシブな職場づくりを進めています。その取り組みの一つとして制服に新たなバリエーションを追加し、入職時に自身の好みに応じて選択できるようにしました。社員へのヒアリングを重ねて複数の候補から決定したものであり、個々の感性や価値観を尊重した施策となっています。

公式TikTokにて、
選べる制服を紹介するPR動画
を発信し、多くの反響を
いただきました。



TOPICS
3

人財と専門性を育てる
チャレンジキャリア制度

介護サービスのさらなる向上と維持を目的に、「チャレンジキャリア制度」を運用しています。日々の業務で培われた知識や技術を可視化し、質の高い介護サービスの明確化を図るとともに、意欲ある従業員の成長とキャリア形成を支援する当社独自の評価制度です。15段階の明確な評価基準のもと、筆記・実技試験により専門性を評価し、段階に応じた処遇へ反映しています。32期においては660名の従業員が本制度に挑戦し、学びと専門性の向上に取り組みました。



TOPICS
4

地域とともに推進する子育て支援と食育の取り組み

うれしい保育園 離乳食講習会

ケア21が運営する「うれしい保育園」では、地域とのつながりを大切にし、子育てを支える取り組みを積極的に行っています。

その一環として、地域の保護者が参加できる離乳食講習会を実施し、月齢に応じた調理方法や安全な食の進め方を専門スタッフがお伝えしています。

園児だけでなく、地域子どもたちや保護者の学びの場を提供することで、子育て支援と食育活動の両面から、安心して子育てができる環境づくりに貢献しています。



当社保育園内で開催された講習会の様子。

TOPICS
5

つながり合い、誰も取り残さない地域づくりへ

地域交流を促すイベントの開催

当社が運営する有料老人ホームでは、地域の皆さまにもご参加いただけるイベントを開催し、ご入居様と地域の皆様が共に楽しめる交流の場を提供しています。

なかでも「歌声喫茶」では、懐かしい歌を歌い合う場面や専門職による体操プログラムを通じて、人と人とのつながりが自然と生まれ、地域包括ケアの推進に寄与しています。

今後も地域に開かれた施設づくりを進めるため、こうした取り組みを継続してまいります。



当社有料老人ホームのレストランフロアで開催された歌声喫茶イベントの様子。

事業運営を支える意思決定と各部門の取り組み

当社では、現場での価値提供を支えるため、経営としての意思決定を
各部門の役割や取り組みに落とし込み、事業運営を行っています。

本ページでは、各部門長の視点から、経営を支える意思決定と、その実践についてご紹介します。

ご入居前後の体験価値を統合的に支える力

入居促進部



橋本 幸一朗

当部は、より多くの入居検討者様に当社ブランドを確かな形で届け、誰もが自分らしい暮らしを実現するための入口を担っています。デジタル領域を推進するマーケティング部門と、対面領域を担う当部が連動し、現場運営部門とも協働することで、入居前後を通じた価値向上を図っています。

こうした組織づくりと部門連携による営業活動の深化により、お問い合わせ件数や見学機会など、入居に直結する動きが着実に高まり始めています。持続的成長を見据え、現場がサービス提供に専念し、当部が営業機能を一元的に担う体制を築くことで、さらなる企業価値向上に寄与してまいります。

持続可能な企業成長を支えるために

第1事業推進部 第2事業推進部



古川 大介

第1事業推進部は、市場分析を基盤にマーケティングと事業企画を一体的に推進し、顧客との双方向コミュニケーションの強化を重点に据えています。33期は、顧客データの収集・分析体制の精度を一段と高め、確かな根拠に基づく戦略立案を通じて、持続的な収益拡大につながる事業構造の確立を目指しています。

第2事業推進部は、加算・行政手続きに加え、運営課題の解決を横断的に支援する体制を強化しています。制度改正や新制度導入に伴う変化を的確に捉え、現場が安定して価値提供に専念できる運営基盤の整備を、33期の重点方針として推進します。

両部門の取り組みを通じ、環境変化を柔軟かつ着実に捉えながら経営の予見性を高め、企業価値向上に資する仕組みをさらに加速させてまいります。

両部門を統括する立場として、組織の方向性を示しつつ、対話と協働を軸に最良の成果を追求していきます。今後も変化を恐れず挑戦を続け、当社の持続的成長を力強く支えてまいります。

次世代を担う子どもたちの可能性を育むために

児童福祉事業部



小野 哲也

当部は、次世代を担う子どもたち一人ひとりの可能性を育み、安心して成長できる環境や場を提供することを使命としています。保育所の運営にとどまらず、保護者や地域の子育て家庭を支える存在として、地域に根ざした児童福祉のあり方を追求してきました。前期は、地域に向けた子育て相談やイベントの取り組みを強化し、園と地域とのつながりを深めることで、入園にもつながる好循環が生まれつつあります。

33期は、オリジナルの教育プログラム「みらいスターズプログラム」を柱としながら、乳幼児期の保育や多様な遊び・体験活動にも視野を広げ、「うれしい保育園」としての保育の確立に取り組みます。保育に絶対の正解はありませんが、私たちなりの考え方を示し続けることで、地域や業界全体に良い影響を与え、より良い保育の実現につなげていきたいと考えています。



ケア21プレザンシリーズ 関西最高峰

プレザングラン京都下鴨

2026年5月、京都市左京区下鴨上川原に、住宅型有料老人ホーム「プレザングラン京都下鴨」を開設いたします。本施設は、介護・福祉分野で培ってきた運営実績を活かし、入居者様の健康維持と生活の質向上を重視した「予防医療」の考え方を取り入れた高付加価値型ホームです。

日常の変化を早期に捉え、医療・介護と連携した支援を行うことで、自分らしい日々の暮らしを安心して重ねていける環境づくりを目指します。関西エリアにおけるハイグレードモデルとして、暮らしの質を大切にしたい住まいの提供を目指します。

上質な暮らしを実現するサービス体系

●切れ目なく寄り添うケア体制

自立期から重度介護まで対応できる体制を整え、看護師24時間常駐と医療機関との連携により安心の支援を提供します。医療・看護・介護が連携するチームアプローチを採用し、必要に応じて切れ目なく適切なケアを行います。

●個別性を重視した暮らしの設計

生活スタイルや心身の状態に応じた個別ケアプランを策定し、ご本人の意志を尊重した暮らしを支援します。多彩なアクティビティを通じて、自由度の高い日常を実現します。

●選べる食事を叶えるオーダースタイル

当社が展開する有料老人ホーム「プレザングラン」シリーズでは、施設内のレストランにおいて着席後にメニューを選ぶオーダースタイルを採用し、日替わり料理や季節の趣を取り入れた献立をご提供しています。プレザングラン京都下鴨においても、選ぶ楽しみと食の豊かさを大切にしたい食事サービスの提供を予定しており、心身の健康に配慮した上質な食の在り方を追求してまいります。



カフェラウンジを設えたエントランス



柔らかな光と緑に満ちたレストランフロア



京都の伝統美が息づく、静穏な庭園

お問い合わせ

ケア21施設受付センター

☎0120-944-821

受付時間(月～日)
9:00～18:00

第33期 新規出店予定

福祉事業参入25周年の知見を礎に、次代へ進む着実な拠点展開

株式会社ケア21は32期に福祉事業参入25周年を迎え、これまでに培ってきた知見と運営基盤を次の段階へとつなげています。33期において当グループでは、既存事業との連続性や地域特性を踏まえた新規出店を計画し、事業基盤の充実とサービス品質の維持・向上を見据えた拠点展開を進めていきます。

第33期の新規出店予定表

在宅系事業所

訪問介護

2026年
3月 **大阪** ケア21浪速
兵庫 ケア21川西能勢口
福岡 ケア21博多南
5月 **京都** プレザングラン京都下鴨

居宅介護支援

2026年
3月 **大阪** ケア21東岸和田
福岡 ケア21久留米

施設系事業所

有料老人ホーム

2025年
11月 **東京** プレザンメゾン篠崎
2026年
5月 **京都** プレザングラン京都下鴨

障がい者(児)支援・保育事業所

放課後等デイサービス・児童発達支援

2026年
3月 **兵庫** リールスプラス西宮北口
大阪 リールスライフ高槻
4月 **東京** リールスメディカル足立綾瀬

関連会社事業所

ダイニング

2025年
11月 **東京** 篠崎ダイニング
2026年
5月 **京都** 京都下鴨ダイニング

※記載の新規開設予定の施設については、現時点での計画に基づき記載しておりますが、今後の状況等により、開設時期の変更や計画の変更・中止となる場合があります。

拠点とデジタルを組み合わせた事業基盤の強化

当グループでは、新規出店による拠点展開に加え、介護に悩む方やそのご家族が安心して相談できる接点づくりを通じて、事業基盤の強化を進めています。WebやLINEを活用した介護相談対応や介護施設検索サービスにより、介護に直面した早い段階から必要な情報や選択肢を提供し、状況に応じた支援につなげています。

また、介護保険サービスに加え、介護保険適用外サービスを組み合わせることで、日常生活をより丁寧に支える体制を整えています。こうした取り組みを通じて、ご利用者様一人ひとりの生活に寄り添いながら、事業としても安定した運営を可能とする基盤づくりを進めています。

介護に関するお悩み相談窓口 ケア21 介護なんでも相談室



介護に関する悩みや不安に、プロのケアマネジャーがお応えする、ケア21オリジナルのサービスです。

ケア21の介護施設専用サイト ケア21老人ホームナビ



ケア21が運営する各施設の特徴やサービス内容を分かりやすく紹介するとともに、施設ごとのブログを通じて日々の暮らしや雰囲気発信しています。入居を検討されている方やご家族様が、安心して選択できるよう情報提供を行っています。

新規施設のご紹介

2025年
11月開設

介護付有料老人ホーム プレザンメゾン篠崎

都市近接と水辺の自然環境を生かし、ICT導入による安心の介護価値を提供

プレザンメゾン篠崎は、都心へのアクセスの良さと江戸川の水辺環境を併せ持つ立地特性を生かし、落ち着きと安心感のある暮らしを提供する介護付有料老人ホームです。ご入居者様一人ひとりの生活リズムや状態に応じたケアを基本とし、ICTを活用した見守り体制により、日常の安心確保と運営の質向上を図っています。当社は本施設を通じて、首都圏における事業展開の深化とサービス水準の底上げを進め、将来にわたって安定した事業運営を支える拠点として位置付けています。



レストランフロア



テラス席

資料請求・ご見学 お問い合わせ

ケア21施設受付センター

0120-944-821

受付時間／9:00～18:00(月～日)

2026年
3月開設
(予定)

未就学児向け 個別療育 リールスプラス西宮北口



※本サービスは、今後の状況等により始動時期の変更または計画が見直される可能性があります。

乳幼児期からの支援ニーズの高まりを背景に、当社は未就学児を対象とした個別療育サービス「リールスプラス西宮北口」を開設予定です。本サービスは、障がい児支援事業で培ってきた人材育成の仕組みと現場運営の知見を活かし、専門性と継続性を備えた支援を実現します。当社は本サービスを、障がい児支援領域における事業基盤強化と、今後のサービス展開を見据えた重要な取り組みとしています。

特長

専門的な支援計画とデジタル技術を組み合わせ、療育内容の可視化と家庭との共有を行うことで、一貫性のある支援体制を構築しています。また、支援プロセスの標準化を進めることで、属人性に依存しにくい運営モデルを形成し、人材不足が課題となる環境下においても、安定した支援品質の確保を図っています。

